

妊産婦



母子健康手帳交付と妊婦指導

母子健康手帳には、母と子の健康状態を記録します。また、母子の健康や子育てに必要な情報を掲載しています。

時(月)～(金)午前8時30分～正午(16日(祝)、23日(祝)を除く) 対妊婦 持妊娠届出書、外国籍の方は特別永住者証明書・在留カード・外国人登録証明書のいずれか

パパママ応援教室(予約制)

もく浴体験と栄養・歯の話 時15日(日) 受け付け→午前9時20分～9時30分 対妊婦とその夫 定30組(先着順) 持筆記用具・母子健康手帳 申8月20日(火)から(土)を除く同センターへ

マタニティサロン・赤ちゃんサロン

妊産婦の情報交換の場です。 時18日(木)午前9時～11時(出入り自由) 対妊婦、6カ月未満の子とその保護者 持赤ちゃん用バスタオル(妊婦を除く)

マタニティクッキング(予約制)

時18日(木)午前9時30分～午後1時 対出産予定が11月～来年3月の妊婦とその家族 定20人(先着順) ¥400円 申9月11日(火)まで(土)を除く同センターへ



乳幼児健診



4か月児健診

時4日(木)・11日(木)・18日(木)・25日(木) 受け付け→午後0時45分～2時 対3カ月半～5カ月の子(順次個人通知)

1歳6か月児健診

時6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金) 受け付け→午後0時30分～2時 対1歳6カ月～2歳未満の子(順次個人通知)

3歳児健診

時5日(木)・12日(木)・19日(木)・26日(木) 受け付け→午後0時30分～2時 対3歳の子(順次個人通知)

時期間・日時 場場所 内内容 講講師
対対象 定定員 費用 持持ち物
他その他 申申し込み
(¥無料の場合は記載を省略)

予防接種



場市内指定医療機関 内ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・三種混合・ポリオ・BCG・麻しん風しん混合・日本脳炎・二種混合・ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん) ※詳細は、本紙4月15日号8ページをご覧ください。



検診



市保健センター、市内指定医療機関では、定期的に検診をしています(予約制)。 ※詳細は、本紙5月1日号9ページをご覧ください。

急病の時は

- ①まずは、かかりつけ医へ
- ②休日夜間急病診療所(市保健センター併設/☎(76)2022)へ

科目	診察日	受付時間
内科	(月)～(金)	午後8時～10時
	(土)	午後5時～9時
小児科	(日)(祝)・年末年始	午前8時30分～午後9時
	(12月30日～1月3日)	午前8時30分～午後4時30分
歯科		

- ※内科・小児科(日)(祝)・年末年始の午前11時30分～午後1時、午後4時30分～5時30分、および歯科の午前11時30分～午後1時は休み。
- ③救急医療情報センター(刈谷市/☎(36)1133)へ
 - ④小児救急電話相談へ 受付日時→毎日午後7時～11時 電話番号→短縮番号#8000(携帯電話・プッシュ回線契約電話)、☎052(962)9900
 - ⑤八千代病院(☎(97)8111)、安城更生病院(☎(75)2111)へ

教室



今日の料理は任せろ! 男性の料理教室

時27日(金)、10月2日(木)午前10時～午後1時(全2回) 場文化センター 内27日→だしの取り方、野菜の切り方などを学び、肉じゃが、みそ汁などを調理 10月2日→豚肉とピーマンのオイスターソース炒め、里芋ときのこの煮物、おひたしのごまかけなどを調理 講ヘルスマイト 対市内在住の男性 定20人(先着順) ¥600円 持エプロン・三角きん・筆記用具 申8月26日(月)～9月6日(金)午前8時30分～午後5時(土)を除くに電話で市保健センターへ



ゴックン教室(前期離乳食)

時11日(木)・25日(木) 受け付け→午後2時10分～2時30分 場市保健センター 対4～6カ月の子とその保護者 持赤ちゃん用のバスタオル・母子健康手帳



カミカミ教室(後期離乳食と歯の手入れ)

時9日(月)・30日(月) 受け付け→午後1時10分～1時30分 場市保健センター 対7～11カ月の子とその保護者 持母子健康手帳・赤ちゃん用のバスタオル

健康ト〜ク

今月のテーマ 「がん検診」
9月はがん予防月間

◆早めの治療でがんは治る!

大きく蔵 がんにかからないためにはどうしたらいいの? 保健師ヘルシー 残念ながら、生活習慣に気をつけていても、がんにかかる可能性はゼロにはなりません。でも、がんで「命を落とさな」ための「特効薬」はありません。それが、がん検診です。大きく蔵 検診で早くがんを見つければ助かるの? ヘルシー 医学の進歩で、現在のがんにかかっても半分の人は治っています。特に、初期段階で見つけ早めに治療した人は、とても高い確率で治っているんですよ。大きく蔵 それじゃあ積極的に検診を受けたいとね! ヘルシー とこが日本の検診受診率は外国に比べると低く、がんが死亡する人の数は増えているんです。日本は、およそ3人に1人ががんを落とす、「がん大国」です。下に紹介したがんは、初期症状がなく気づきにくいがんです。ぜひ検診を受けてください。

子宮頸がん検診

検診は痛みも少なく数分で終了します 性行為での感染が原因で20～30代の女性に急増中。市では 20歳以上で検診の機会がない人は1000円で受けられます。



胃がん検診

バリウムを飲んでから胃にX線を当てます 日本人がかかりやすく、40歳以上は増える傾向に。市では 40歳以上で検診の機会がない人は2000円で受けられます。



大腸がん検診

2日分の便の一部を採取して提出 がんがあると出血が見つかるため、便の血液反応を調べる。市では 40歳以上で検診の機会がない人は500円で受けられます。



※いずれも70歳以上は無料。本市はこの他に肺がん・乳がん・前立腺がんの検診も実施。保健センター及び市内医療機関で受けられます。詳細は保健センターに問い合わせてください。